

第24回

かながわヴォーカルアンサンブルコンテストご報告

新型コロナウイルス感染症の第6波が迫る1月16日(日)に神奈川県立音楽堂にて第24回かながわヴォーカルアンサンブルコンテストを開催しました。当日は音楽堂のガイドラインに基づき感染症対策として、ブロック制の導入、ブロック間での客席の消毒と換気、リハーサル無し、表彰式無し、舞台でのマスク着用、立ち位置指定などを取り入れ、コロナ禍におけるリアル開催を実現しました。また、急遽、出演不可となった団体の救済として音源審査も併用しました。当日は音源審査を含め参加50団体全てに演奏を披露して頂くことができ安堵しました。しかし、昨年同様、一般団体が6団体と少なく、コロナ禍における一般団体の活動の難しさを再認識しました。

また、コロナ禍によるイベント中止や参加団体の減少で県連財政が芳しくない状況にあります。改善施策として経費削減を推進(プログラムのホームページ提供、実行委員会のリモート開催など)するとともに、入場券を全席指定で400席を販売し、完売しました。寒い中、早くからご来場いただき販売開始&開場までお待ち頂きましたお客様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

かながわアンコンでは、審査は①発声 ②アンサンブル ③音楽性 ④審査員が重視した点の4つの項目で評価します。審査の結果、総合1位に清泉女学院高等学校音楽部、総合2位に清泉女学院中学校音楽部 elder、総合3位に県立湘南高校合唱部 暁が選出されました。審査員は片山みゆき先生、樋本英一先生、古橋富士雄先生の3名です。各賞は次ページ別表をご参照ください。

今回、コロナ禍においてのリアル開催実現で参加団体や関係者の方々から「人前で歌う機会があり、モチベーションの向上になる」との感謝のお言葉を頂きました。喜ばしいかぎりです。出演者の方々には通常開催と異なりご負担も掛けますが、今後も感染症対策を行い発表の機会を提供していきたいと存じます。

最後に、今回の開催に当たり、参加していただきました各団体の皆様、審査員の皆様、音楽堂の皆様、関係各位にこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

ヴォーカルアンサンブルコンテスト実行委員長

田中 勝

第24回 かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト

審査結果一覧

部門	団体名	賞	関東推薦
小中学校部門	神奈川学園中学校女声合唱団	金	
	清泉女学院中学校音楽部 younger	金	○
	清泉女学院中学校音楽部 elder	金	○
	佐倉ジュニア合唱団	金	
	横浜市立瀬谷中学校 合唱部	銀	
	横浜市立大綱中学校	銀	
	川崎市立坂戸小学校合唱団	銀	○
	横浜市立川和中学校	銀	
	横浜市立原中学校 合唱部	銅	
	目黒区立東山小学校合唱団	銅	
高等学校部門	県立湘南高校合唱部 風	金	○
	神奈川県立海老名高等学校合唱部「空奏」	金	○
	清泉女学院高等学校音楽部	金	○
	北鎌倉女子学園コーラス部	金	
	日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ	金	○
	県立湘南高校合唱部 暁	金	○
	神奈川県立海老名高等学校合唱部「海知」	金	
	県立多摩高校合唱部	銀	
	神奈川学園中学・高等学校女声合唱団	銀	
	神奈川県立相模原弥栄高校合唱団	銀	
	県立湘南高校合唱部 翡翠	銀	
	洗足学園中学高等学校合唱部	銅	
	湘南白百合学園中学・高等学校コーラス部	銅	
	鶴沼高等学校合唱部	銅	
	山手学院高等学校合唱部 空	銅	
混声部門 女声・男声・	Trinity	銀	
	Dancing Dolphins	銅	
	合唱団インテグラルズ	銅	
	TAMA STAR SINGERS	銀	○

総合 審査結果

総合1位 清泉女学院高等学校音楽部

総合2位 清泉女学院中学校音楽部 elder

総合3位 県立湘南高校合唱部 暁

審査員賞

北鎌倉女子学園コーラス部



実行委員のみなさん

ヴォーカルアンサンブル コンテストを終えて

審査員長 古橋 富士雄

1月16日神奈川県立音楽堂（木のホール）において第24回ヴォーカルアンサンブルコンテストが開催され、10時半から20時まで50団体の演奏を聴かせていただいた。コロナ禍においてコンクール実施へ導かれた連盟の皆様方のご苦勞に感謝と敬意を表します。

学生、一般、どの団体も練習所の確保もままならず、思うような練習ができない中、心温まる素敵な演奏を聴かせてくれた。今までに経験のないマスクをかけての練習、本番舞台と合唱人にとっては苦難な終着点となったが、どの団体も熱の入った演奏だった。「どんな困難にも乗り越えて歌い続けよう」と願い合う心が美しいホールの響きに木霊して私たちの心に響いてきた。もちろん「もう少し練習を深くすれば」「ここを直せば」など不満の箇所がないわけではない。しかしそんなことを列記するよりも、コロナ禍で心寄せ合って努力した仲間たちの成果を褒めてあげたい。そしてその演奏はただ競い合うだけのものではなく、精一杯練習したその成果を誇らしげに歌い合った仲間を、ともに認め合おうとするかけがえのない歌声となり、この日の最大の喜びとなった。どの審査員も全団体に金賞を差し上げたい気持ちだったに違いない。



日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ



TAMA STAR SINGERS

第11回 関東ヴォーカル アンサンブルコンテスト

第11回関東ヴォーカルアンサンブルコンテストは、3月12日(土)に高等学校部門、13日(日)に小学校中学校部門と一般部門が、群馬県の藤岡市みかばみらい館にて開催されました。神奈川県からの推薦団体の審査結果は以下の通りです。

第11回 関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト審査結果

	団体名	賞
小学校 中学校 部門	清泉女学院中学校音楽部 B	金賞 支部長賞
	清泉女学院中学校音楽部 A	銀賞
	川崎市立坂戸小学校合唱団	棄権
高等学校 部門	清泉女学院高等学校音楽部	金賞
	神奈川県立湘南高等学校合唱部 B	銀賞
	神奈川県立湘南高等学校合唱部 A	銅賞
	神奈川県立海老名高等学校合唱部	銅賞
	日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ	銅賞
一般部門	TAMA STAR SINGERS	銅賞

声楽アンサンブルコンテスト 全国大会

3月18日(金)～21日(月・祝)に福島市のふくしん夢の音楽堂で開催予定だった第15回声楽アンサンブルコンテスト全国大会は、3月16日(水)に発生した地震の影響で、参加者の安全確保のため中止となりました。

神奈川県からは、清泉女学院高等学校音楽部と中学校音楽部の皆さんが出場予定でした。

被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げます。



県連からのお知らせ

新理事長に岩本達明さんが就任されました

今年(2022年)は役員改選の年に当たるため、事前に昨年12月の臨時総会(書面審議)において2022～2023年度の理事および監事の選出を行いました。その後、今年1月9日の臨時理事会において、理事の互選により、2022～2023年度の理事長、副理事長を選出いたしました。

その結果、理事長には新たに岩本達明さんが、副理事長には佐藤美紀子さん、杉山範雄さんが選出されました。

さらに、事務局長に岩淵正観、事務局次長に渋谷直美さん、田中勝さんが指名されました。

理事については、3名の新任理事と再任の30名の33名の体制で、今年度の新たなスタートを切りました。

なお、これまで2期4年にわたり当該職を務めてまいりました志澤彰理事長は勇退されました。

(事務局長 岩淵 正観)

～「第77回 関東合唱コンクール」について～

今年度は、「第77回関東合唱コンクール 大学職場一般部門」を神奈川県主管で開催いたします。まだまだコロナの感染には油断のない状況が続いておりますが、多くの団体のご参加と、多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

◆ 日時：2022年10月9日(日)

◆ 会場：相模女子大学グリーンホール

第44回神奈川県合唱フェスティバル

2022年2月11日(金・祝)、神奈川県立音楽堂において、第44回神奈川県合唱フェスティバル～神奈川男声合唱フェスティバル～が開催されました。前日段階では大雪の予報でしたが、おかげさまで天候に恵まれ、着雪も無かったため紅葉坂を滑ることなく登ることができ、無事開催できたことは感無量であります。

男声合唱フェスティバルは、2010年の第33回神奈川県合唱フェスティバル以来で、12年ぶりの実施となりました。その時の参加数が17団体でしたが、今回も同数の17団体の参加がありました。コロナの第6波という事で、1月25日に急遽音源でも映像でも参加できるように致しましたところ、当日は映像参加が2団体、音源参加が1団体ありました。本番直前にUSBで映像データをお持ち頂いた団もあり、その映像を流すことができたことは、それまで取り組んできた活動の成果を、発表する機会を補償できて本当に良かったと思います。そして、どの団体も素晴らしい演奏をしてくださり、お越し頂いた多くの観客の皆様にも、男声合唱の楽しさを堪能して頂けたと思います。

フェスティバルという事で、なんとしても合同合唱をやりたいと思っておりましたが、各団体から1名ずつ出てもらい歌った「いざ立て戦人よ」は、コロナ禍の取り組みとして良い方法だったと思います。人との交流が制限されている現在、このような取り組みは、これからも積極的にこなっていけたらと思っています。

合唱連盟副理事長・フェスティバル実行委員長 岩本 達明



合同演奏



実行委員のみなさん

参加されたみなさんの声

まず、合唱フェスティバルが無事に開催されたことに感謝いたします。濃厚接触者となってしまう、本番に参加することができなくなってしまった団員もあり、決して万全とは言えない体制でしたが、自分たちができる限りの演奏はできたと思います。他団体様の演奏も、男声合唱らしい渋い名曲も多く、とても楽しむことができました。

練習についても、思うように練習環境を用意することができず、メンバーが十分に参加できないことも何度かありました。演奏曲も難度が高く、クオリティを上げることが難しかったです。今回の演奏が、聴いてくださった方を楽しませることができたなら幸いです。

合唱団インテグラルズ 峰尾 悠真

いろいろな意味で、深く思い出に残った男声合唱フェスティバルでした。

コロナ禍に加え、前日には大雪警報まで発令されたので「本当に開催されるかな」と不安になっていたのです。無事に演奏会が行われて何よりでした。あらためて、神奈川県合唱連盟のみなさまへ感謝申し上げます。

ハルクロが演奏した「ブルー」と「泳ぐ」の2曲は、今は絶版してしまった無伴奏男声合唱組曲「心の翼」に収録されている曲です。リズムカルな2曲をアカペラで歌うにあたり、数少ない対面練習だけでなくリモートでの練習を活用して仕上げていきました。課題も山ほど見つかりましたので、今後もコロナ禍ならではの方法で合唱活動を続けたいと、強く思いました。

Harmonia Cross 水野 伸一

この度、様々の困難を乗り越えて男声合唱フェスティバルを実現して頂いた県連の皆さまに厚く御礼申し上げます。私どもは20名に満たないメンバーでしたが、伸び伸びと楽しく歌わせて頂きました。他のグループの男声の響きも堪能しました。

もっと男声合唱の輪を広げたい。KAMCA(神奈川男声合唱協会)は、これまで15回の演奏会や男声合唱セミナーを行うと共に、県連に男フェスの開催をお願いしてきました。

神奈川には50以上の男声グループがあります。埼玉、宮城のように毎年30以上の団体が一堂に会してビール片手に「いざ立て」を歌う場があったらと思うのです。今回の男フェスがその一歩になることを夢見ています。

洋光台男声合唱団 瀬野 俊樹

リレーエッセイ No.36 指揮者の『ここだけの話』



指揮者だからこそ味わえる・・・味わってしまうおもしろエピソードを
リレー形式で書いていただく人気のコーナー。今回は 谷本 喜基 先生です。

「指揮者」考

今からおよそ3年前、ギリシャの鬼才テオドール・クルレンツィスが手兵ムジカエテルナを連れて日本にやってきた。期待を裏切らないセンセーショナルな演奏に会場は沸き立ち、サイン会は長蛇の列をなした。せっかくだから何かひとつ質問したい、と心に決め待つこと30分、ウィスキー片手にリラックスした表情でサインを書く彼の前に到達した。たどたどしい英語で私は聞いた、「指揮者にとって一番大切なことは？」すぐに彼は低い声で呟いた、「一緒に夢を見ることだよ」と。なるほどありがとう、と告げ会場を後にするもその言葉がぐるぐると頭を巡る。当時の私はいわゆる（目に見える方の）指揮法の稽古にだけ没頭してい



たため、彼の抽象的な答えはすぐにはピンとこなかった。その頃から、「指揮者の立ち位置」については大いに考えさせられることとなる。

芸大時代を振り返ると、和声を教えてくださったM先生の言葉を思い出す。

「心っていうのはね、作品と、奏者と、聴衆の間にあるんだよ」

これら三つのどれか一つでもクオリティを欠いてしまうと最高の音楽会にはならない。指揮者はその進行をステージの中心で司る、例えるならテレビ番組のMC（マスター・オブ・セレモニー）のような存在である。作品の美を信じ、曲を発進させ、次の曲がり角に至るまでは奏者を自由に歩ませる。ここで大切なのは「聴衆すらも背負っている」ということだ。彼らもそれぞれの想いを持って劇場に足を運び、奏者と同じように

音楽を歩んでいる。周りでアクシデントが発生したら目の端でそれを捉えてケアしつつ、全体としては音楽の「山登り」を続ける。困難な地点では先頭に立って着実に進み、安全な場所では皆を解放させ、しばし景色を楽しんでもらう。そうして進んでいるうちに山の頂は見えてくる——ここまで考えてやっと、クルレンツィスの言葉が腑に落ちるようになってきた。

「先頭に立ち、まだ見ぬ音楽山の頂に憧れ、夢を見続けること」指揮者考はまだまだ続く——

次回は吉田 宏 先生にお願いしました。

カノンコンサートガイド

4/24 (日)	神奈川学園中学・高等学校女声合唱団 第28回定期演奏会 15:00 ~ よこすか芸術劇場 大劇場 入場料: 無料 (要入場整理券) お問合せ: 川合 美奈子 m-kawai@kanagawa-kgs.ac.jp コチャール&ジェンジェン作品集、相澤 直人&横山 潤子作品集、ミュージカル「メリーポピンズ」上演
4/30 (土)	本牧 Ladies' Ensemble 10th Concert 14:00 ~ 戸塚区民文化センター さくらプラザホール 入場料: 無料 お問合せ: 西柳 春美 045-351-9869 指揮: 土居 規子 ピアノ: 須江 太郎 モーツァルト Missa brevis in D 九ちゃんが歌ったうた他
6/21 (火)	アンサンブル・ブリュサン ますます気になるコンサート 18:45 ~ 鶴見区民文化センター サルビアホール 入場料: 2,000 円 (全席自由) お問合せ: 沖浦 090-4366-0390 心に響くジャズ〜Jポップ〜ミュージカルの三部構成。ピアノ: 金井 信、ドラムス: 佐竹 尚史でお届けします
7/18 (月・祝)	相模原市民混声合唱団 第27回演奏会 (40周年記念) 14:00 ~ 相模原女子大学グリーンホール 大ホール 入場料: 1,000 円 (予定) お問合せ: 間宮 090-9834-9200 客演指揮: 岩本 達明 ピアノ: 武藤 聡里ほか 信長 貴富 編曲「中島みゆき」/ 上田 真樹 作曲「鎮魂の賦」他

☆コンサートガイド掲載要綱☆

◆ 無料掲載: 「コンサートガイド」県連加盟団体のコンサートのお知らせです。

県連ホームページより申込み用紙をダウンロードしてご利用ください。

①合唱団名 ②演奏会名称 ③開催日時 ④会場 ⑤入場料等 ⑥問合せ連絡先 ⑦コメント (50 字以内) の項目を記入の上、メール、Fax または郵送にて編集部までお申し込み下さい。無料掲載は演奏会 1 件につき 1 回のみとなります。

◆ 有料掲載: 1/8[〜] ¥2,500、1/4[〜] ¥5,000、1/2[〜] ¥10,000、1[〜] ¥20,000 (未加盟団体は倍額となります。)

ご希望のサイズで版下原稿を作成してお送り下さい。お送りいただいたデータをそのまま掲載いたします。内容は基本的に自由ですが、事務局が掲載にふさわしくないと判断したものにつきましてはお断りすることがあります。有料掲載と無料掲載の両方をご希望の場合はそれぞれにお申し込み下さい。※切り厳守でお願いします。

カノン発行日	春号 4月10日	夏号 7月10日	秋号 10月10日	冬号 1月10日
原稿〆切	2月28日	5月31日	8月31日	11月30日

神奈川県合唱連盟の今後のイベント予定 (2022年5月~2023年2月)

●2022年度定時総会	5月21日(土)	かながわ労働プラザ 多目的ホール
●第65回神奈川県合唱祭(4日間)	6月11日(土)・12日(日)	神奈川県立音楽堂
	6月25日(土)・26日(日)	神奈川県立音楽堂
●第65回神奈川県合唱コンクール (第77回関東合唱コンクール神奈川県大会)	8月20日(土)・21日(日)	神奈川県立音楽堂
●第77回関東合唱コンクール(大学職場一般部門)	10月 9日(日)	相模女子大学グリーンホール
●第28回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバル	11月22日(火)	横浜みなとみらいホール 大ホール
●第55回メサイア演奏会(主催: 県立音楽堂)	12月11日(日)	神奈川県立音楽堂
●かながわユース・コーラルフェスト 2022	12月18日(日)	清泉女学院講堂
●第25回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト	2023年 1月21日(土)・22日(日)	神奈川県立音楽堂
●第45回神奈川県合唱フェスティバル	2月 5日(日)	神奈川県立音楽堂

編集後記: パンデミックがまだ終息をみないうちに、思いもよらない軍事侵攻がはじまり、3月には大きな地震が発生、心の痛むことが続きます。あたりまえの日常がどれほど大切なことか。一日も早く平和で心穏やかな日々を取り戻せますように。(編集長 青山 道代)

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon カノン」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

発行責任者 岩本 達明 編集責任者: 青山 道代

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021 横浜市中区日本大通 15 横浜朝日会館 4 階

TEL: 045-681-6033 FAX: 045-662-5119

スタッフ常駐: 平日: 月火木金 (休祝日を除く) 12:00 ~ 16:00

URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mail アドレス kanagawakenren@nifty.com

